

1 新たな収入確保対策への取組状況（令和 8 年 3 月末実績）

（円）

項目	取組内容	取組状況	令和 7 年度中の収入確保額		
			水道事業	工業用 水道事業	下水道 事業
資 産 等 の売却	不要な土地等の売却	旧大津浄水場跡地の処分に向けた検討を開始した。処分方法としては、公募型プロポーザルによる売却を予定している。令和 8 年度水道事業会計予算案に関連予算を計上。	0	0	0
広 告 活 用	公用車広告の更なる活用	令和 7 年 10 月に公用車広告（2 件）を締結。 （テクノシステム株式会社南九州営業所 様）	39,600	0	0
資 金 活 用	定期預金の更なる活用	令和 7 年 12 月から、事業口座に預金していた資金を、一か月単位で定期預金化することにより、利子収入を得る。	159,146	36,079	78,672
補 助 金 活用	活用可能な補助金の継続的調査	水道事業においては、地域未来交付金デジタル実装型 (TYPEA) の申請、防衛施設周辺整備事業補助金の交付に係る要望を実施した。下水道事業においては、引き続き、積極的な補助事業の活用に取り組む。	10,394,000	0	1,054,872,500
	補助要件緩和に向けた国への積極的な働きかけ	「上下水道事業に対する財政措置」について、社会資本整備総合交付金その他の上下水道設備整備関係補助金の補助要件の緩和とともにさらなる財政措置の拡充を強く要望する旨、九州市長会を通じて国へ新規要望を提出した。	0	0	0
既 存 収 入 の 見 直 し 等	証明書発行手数料の見直し	各種証明発行手数料を、一般会計における各種証明発行手数料に合わせて 200 円から 300 円とする。令和 8 年第 1 回定例会に関連条例の改正案を提案。	0	0	0
寄 附 等	企業版ふるさと納税の活用	寄附対象事業「令和 7 年 8 月霧島市大雨災害復興支援プロジェクト」 （株式会社アリマコーポレーション 様）	3,000,000	0	0
そ の 他 の 取 組	一般会計からの繰入れ	工業用水道事業施設更新基本計画策定のため	10,560,000	0	0
		給水タンク車の財源に「公営企業債・防災対策事業債」（充当率 100%、元利償還金の 70%が普通交付税措置）を活用し、企業債元利償還分を一般会計から繰り入れる。 （令和 9 年度からの繰入れを予定。総額見込：23,500 千円）	0	0	0
		「災害復旧事業債」充当分の企業債元利償還分を一般会計から繰り入れる。 （令和 9 年度からの繰入れを予定。総額見込：93,433 千円）	0	0	0
合計			24,152,746	36,079	1,054,951,172

（次ページあり）

2 支出削減対策への取組状況（令和 8 年 3 月末実績）

（円）

項目	取組内容	取組状況	令和 7 年度中の支出削減額		
			水道事業	工業用 水道事業	下水道 事業
経常経費 の削減	公金振込手数料の縮減	公共料金支払いを納付書払から口座引き落としへ変更することにより、振込手数料及び事務量の削減を図る。令和 8 年 3 月から実施予定。	818	272	954
		同一日・同一事業者宛ての口座振替払の名寄せ（合算）、振込先に JA 口座（手数料不要）を活用などにより、振込手数料を削減する。	59,312	0	2,720
	固定経費の見直し	加除式図書の追録購入を終了する。令和 8 年 1 月から実施。	11,339	0	13,352
		出張スケジュールの調整により出張期間の短縮を図るとともに、オンライン・リモートの対応が可能な会議等はオンライン・リモートによることとし、出張旅費の節減を行う。	0	0	0
		ペーパーレス化の推進を図るため、資料の紙印刷を廃止し、職員 PC を国分庁舎の庁内 LAN に接続できるよう環境整備を実施した。	117,202	0	111,408
		備品等の適正な使用について、部内全職員の意識醸成を図るため、部調整会議および部内メールにより周知を行った。	0	0	0
		工業用水道協会からの脱退を行った。（令和 7 年 1 月） ※支出削減見込額には、ブロック会議参加のための旅費及び負担金を含む。	0	143,900	0
		高圧電気契約の料金メニューを見直すことにより、動力費の削減を図る。令和 7 年 12 月分の電気料金から適用開始。	87,029	0	76,627
		水道機械設備に係る保険契約を見直すことにより、保険料の削減を図る。令和 8 年度の保険契約から実施予定。	0	0	0
	企業債支払利息の縮減	令和 7 年度から企業債の借入条件、償還方法を見直し。固定金利方式→利率見直し方式、元利均等償還→元金均等償還（支出削減効果は令和 8 年度から）	0	0	0
事業内容 の検討と 見直し	施設の統廃合および配水区域の再編（水道事業）	簡易水道事業を水道事業に統合することにより、管理費用の削減を図る。令和 8 年度水道事業会計予算案に、関連予算を計上。	0	0	0
AI 等新 技術の利 活用	人工衛星、AI 等を活用した漏水調査、管路劣化調査の実施	衛星画像・AI 等を用いた管路老朽度解析業務委託、衛星による漏水検知技術を用いた調査業務委託を用いた水道事業の D X を推進し、効率的な漏水調査・修繕に努める。令和 8 年度水道事業会計予算案に、関連予算を計上。	0	0	0
	ASP（受発注者間情報共有システム）の採用	浸水対策工事及び設計委託における受発注者間の協議は、これまで紙による提出としていたが、全ての案件を対象に ASP システムを活用した電子申請・電子協議へ移行することで、ペーパーレス化及び業務の省力化につなげる取組。	0	0	8,492
合計			275,700	144,172	213,553